

常務理事会

(第46事業年度・第9回

平成23年12月5日常務理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

審議事項

1. IIRC対応会議からの意見具申『IIRC Discussion Paper「統合報告に向けて - 21世紀における価値の伝達 -」(“Towards Integrated Reporting”)に対する意見』に関する件

平成23年9月12日付けで国際統合報告委員会から公表された『IIRC Discussion Paper「統合報告に向けて - 21世紀における価値の伝達 -」(“Towards Integrated Reporting”)』に対する協会意見を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

2. 米国公開企業会計監視委員会(PCAOB)「監査人の独立性及び監査事務所のローテーションに関するコンセプトリリース」に対するコメントに関する件

平成23年8月16日付けで米国公開企業会計監視委員会から公表された「監査人の独立性及び監査事務所のローテーションに関するコンセプトリリース」に対する協会意見を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

3. 監査基準委員会/監査・保証実務委員会からの答申「新起草方針に基づく品質管理基準委員会報告書及び監査基準委員会報告書並びに監査・保証実務委員会実務指針の最終報告書の公表」に関する件

国際会計士連盟の国際監査・保証基準審議会が行うクラリティ・プロジェクトを受け、品質管理基準委員会報告書及び既存のすべての監査基準委員会報告書を新起草方針に基づく報告書に置き換える作業を行った結果、最終報

告書として取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

4. 経営研究調査会からの答申『経営研究調査会研究報告「事業再生実務と公認会計士の役割」』に関する件

経営研究調査会研究報告第37号「中小企業等の事業再生実務と公認会計士の役割」の見直しを行った結果、経営研究調査会研究報告「事業再生実務と公認会計士の役割」として取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

5. 監査・保証実務委員会からの答申『監査・保証実務委員会研究報告「義援金収支計算書に対して公認会計士等が行う保証業務に関する研究報告」』に関する件

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に係る義援金を募集している非営利法人又はその他の団体等に対し、義援金の収支について透明性を高めるべきとの社会的なニーズの高まりに対応するため、監査・保証実務委員会研究報告「義援金収支計算書に対して公認会計士等が行う保証業務に関する研究報告」を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

6. 業種別委員会からの答申『業種別委員会実務指針「特定目的会社に係る監査上の実務指針」』に関する件

平成23年7月1日付けで公表された監査基準委員会報告書第60号「財務諸表に対する意見の形成と監査報告」及び平成23年7月8日付けで公表された監査・保証実務委員会実務指針第85号「監査報告書の文例」等を受け、業種別委員会報告第31号「特定目的会社の計算書類等の様式及び監査報告書の文例」の見直しを行った結果、業種別委員会実務指針「特定目的会社に係る監

査上の実務指針」として取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

7. IT委員会からの答申に関する件

- (1) IT委員会実務指針「ITを利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの識別と評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」について
- (2) IT委員会研究報告「XBRLデータに対する合意された手続」について

クラリティ版の監査基準委員会報告書に対応するため、IT委員会報告第3号「財務諸表監査における情報技術(IT)を利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」の見直しを行った結果、IT委員会実務指針「ITを利用した情報システムに関する重要な虚偽表示リスクの識別と評価及び評価したリスクに対応する監査人の手続について」として取りまとめた旨、また、XBRLに係る国内外の動向から、公認会計士が行うXBRLデータに対する信頼性を付与するための業務を検討した結果、IT委員会研究報告「XBRLデータに対する合意された手続」として取りまとめた旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

8. 会計制度委員会からの答申『IASB公開草案「投資会社」に対する意見』に関する件

平成23年8月25日付けで国際会計基準審議会から公表された『IASB公開草案「投資会社」』に対する協会意見を取りまとめた旨提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

報告事項

1. プレスリリース「最近の企業不祥事について」の発出に関する件

平成23年11月30日付けでプレスリリース「最近の企業不祥事について」を公表した旨報告があった。

このほか、主な審議事項は次のとおりです。

協会出版局発行出版物の刊行に関する件

理事会

(第46事業年度・第9回

平成23年12月6日理事会)

主な議事内容は次のとおりです。

会長報告

山崎会長から配付資料に基づき、最近の監査を巡る諸問題について、会員との意思疎通の強化、IFRSを巡る現状、平成23年公認会計士試験合格発表、就職説明会の実施、税理士法改正を巡る動き、ディスカッション・ペーパー「協会組織・ガバナンスの現状」等、最近の事業及び会務の運営状況について、会則第95条に基づく報告があり、協議を行った。

審議事項

1. 総務委員会からの意見具申に関する件
 - (1) 会則、綱紀審査会規則の一部変更等に伴う細則の整備について
 - (2) 継続的専門研修制度に関する細則の一部変更について

平成23年11月9日開催の理事会において、「監査業務審査・綱紀事案処理体制整備のための関係細則の改正要綱について」が承認されたことを受け、

会則、綱紀審査会規則の一部変更等に伴う細則の整備を行う旨、また、平成23年10月12日及び11月9日開催の理事会において、「履修結果の申告期限日の変更等」が承認されたことを受け、継続的専門研修制度に関する細則を一部変更する旨それぞれ提案があり、審議の結果、提案どおり承認された。

報告事項

1. IFAC IESBA会議（ニューヨーク会議）報告に関する件
2. IAESBケープタウン会議報告に関する件

平成23年10月17日から19日にかけてニューヨークにおいて開催されたIFAC IESBA会議について、また、平成23年10月25日から28日にかけてケープタウンにおいて開催されたIAESB会議についてそれぞれ報告があった。

このほか、主な報告事項は次のとおりです。

平成23年度地域会の活動評価結果に関する件

以上

(総務本部長 柏原 治)